

令和4年度 第1回小瀬川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

1 日 時：令和4年6月10日(金) 10:30～11:30

2 場 所：WEB会議

3 出席者：「出席者名簿」のとおり

4 議 題：「議事次第」のとおり

5 議事概要

(1) 昨年度の取組状況について

(2) 取組方針の改定について

(3) 減災対策協議会の取組項目の推進について

- ・排水訓練計画について
- ・水防災学習資料（水防災カードゲーム）について
- ・技術支援室の設置について

(4) その他情報提供等

6 意見交換の概要

(弥栄ダム管理所)

取組項目の実施状況の中で、『リアリティーのある水防訓練の実施』などの項目について、検討中となっている理由は何か。

(事務局)

令和7年までの取組み内容であり、今後、各機関と調整し、順次取組む予定である。

(弥栄ダム管理所)

小瀬川の水位は、弥栄ダムの操作が大きく影響するので、ダムの放流量に着目して頂きたい。

現状では 300m³/s の放流を目安としているが、弥栄ダム下流の河川整備の進捗に合わせて見直す必要があると考えており、400 m³/s 程度の放流を検討している。

(和木町)

ダムから 400m³/s を放流すると、避難判断水位に達する恐れがあるが、水位はどれくらいまで上がるのか。

(弥栄ダム管理所)

平成 17 年台風での洪水では 390m³/s を放流している。その時の水位を参照して頂きたい。

(事務局)

後日事務局より回答する。

(大竹市)

400m³/s 放流となると不安である。出水時、400m³/s を放流する際は、事前に情報提供して頂けるのか。

(弥栄ダム管理所)

コンジットゲートから放流する場合は、1 時間前に巡視、警報等を行っている。情報提供については、必要であればホットラインで今後の見込みを連絡したいと考えている。なお、運用変更の検討にあたっては、太田川河川事務所で最新の測量結果より、状況を確認願いたい。

(大竹市)

事前の情報提供はお願いしたい。

(事務局)

運用変更にあたっては、今後検証し、弥栄ダム管理所と調整した上で報告させていただく。